



西之表

市政の窓

第333号／平成2年6月1日発行 ■発行／鹿児島県西之表市役所 ■編集／総務課秘書広報係 ☎②-1111

県巡回劇場「バレエへの招待」



県の巡回劇場「バレエへの招待」が5月8日、西之表市民会館で開催されました。この公演は、青少年の皆さんが芸術の鑑賞を通じて豊かな感性を育み、希望に満ちた生活を送ってもらおうと、県バレエ協会の協力を得て、県・市の教育委員会が主催したものです。

第1部バレエ教室では、バレリーナたちの日頃の厳しい練習の様子が披露され、第2部では、白鳥の湖（第2幕）が上演されました。

本格的なバレエを鑑賞した中学生は、県内にバレエを広めた方が本市の（故）長野克己さん（野首）と聞き、感動を新たにしていました。

日ポ交流の地
花と香りの
ロマン島

1990 6

6月の行事予定

- 5日(火) 第17回こどもからむし歯をなくそう県民大会 (午後1時～・市民会館)
- 9日(土) 宇宙科学少年団入団式 (午後2時～・種子島開発総合センター)
- 10日(日) 第15回市スポーツ少年団親子交歓大会 (午前9時～・国上小グラウンド)
- 10日(日) 種子島地区青少年ふるさとセミナー (午前10時～・市民会館)
- 10日(日) 婦人スポーツ大会 (午前9時～・市民体育館)
- 24日(日) ジュニアリーダー研修会 (午前9時～・勤労青少年ホーム)
- 24日(日) ニュー・スポーツ講習会 (午前8時半～・市営グラウンドほか)
- 26日(火) 公民館講座・カルチャー教室合同開講式 (市民会館)

第2・4土曜日、6／9・6／23市役所業務はお休みです

地域活動の推進役

平成二年度 市政連絡員決まる 納税表彰は48地域

平成二年度の市政連絡員総会が、四月二十七日、市民会館で開催され、各市政連絡員、自治公民館長に辞令と委嘱状が交付されました。
また、会場では、平成元年

度、市税等の徴収に功績のあった地域に対し、表彰状、感謝状等が贈られました。
市政連絡員は市の条例に基づいて設置されており、職務内容については①公文書の配

布、②住民の移動に関すること、③各種調査、徴税、清掃検査、予防接種等の立会及び案内に関すること、④災害情報収集及び報告に関することなど、地域活動の根拠を支える大切な役割を担当することになります。

挨拶に立った榎本市長は、市の長期ビジョンを細かく説明した上で「大変な事務をこころよくお引き受けいただき深く感謝し、一年間お世話になりました」と謝意を表するとともに、市税等の徴収率向上に力添えいただいたと協力を要請しました。

平成二年度市政連絡員の方々と納税表彰を受けた地域は次のとおりです。

表彰状贈呈

・平成元年度の納税成績において、納期内完納並びに年度内完納を達成。

田屋敷・桃園・小牧野・鞍勇・下石寺・奥・白石・上之古田・伊関・近政・平山・平園・安城下之町・川脇・大野・十三番・平松・番屋・御牧・万波・生美山・千段峯・能野里

感謝状贈呈

・納税成績が完納に近く、地域全体で努力した成果がみられる。

天神町・納曽・今年川・岳之田・牧之峯・池之久保・大花里・花里崎・久保田・寺之門・又延・浜脇・軍場・大平・峯・下郷・安城上之町・現和上之町・現和下之町・十六番

納税奨励賞贈呈

・組織の強化がはかられ前年度より大幅に成績が上がり、努力した功績がみられる。

野首・中西・池野・西俣・浜之町



納税表彰を受ける市政連絡員

校区市政連絡員

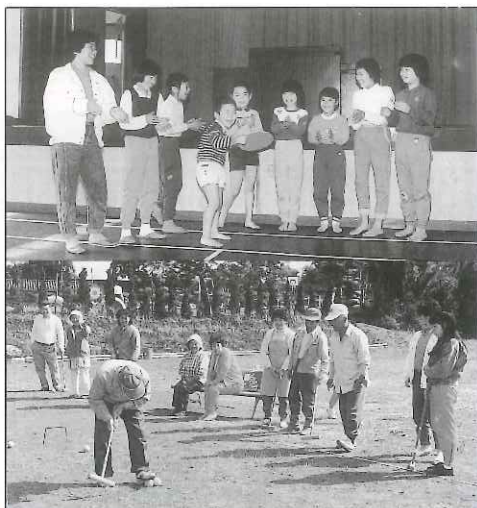
(区会長 外蘭武夫, 副会長 榎本孝巳, 会計 平原征人)

住 所	氏 名	電 話	班 数	世帯数
榕城 岳之田	外 蘭 武 夫	3-0669	306	3,742
上西 大 崎	平 原 征 人	3-1891	25	219
下西 瀬 泊	長 瀬 雄 三	2-0723	70	807
国上 野木平	戸 川 明	8-0126	61	690
伊関 柳 原	中 野 盛 雄	8-0657	27	268
安納 下 郷	日 高 敏 則	5-1056	29	252

住 所	氏 名	電 話	班 数	世帯数
現和 西 俣	西 田 信 助	5-0511	83	720
安城 下之町	榎 元 徳 夫	3-7369	25	254
立山 御 牧	前 蘭 盛 義	3-7062	15	97
中割 生美山	森 重 種 昭	3-8443	8	66
古田 村之町	榎 本 孝 巳	3-8620	32	250
住吉 上能野	浜 添 純 弥	3-3695	70	550

部落市政連絡員

校 区	部 落	氏 名	電 話	班数	世帯数	校 区	部 落	氏 名	電 話	班数	世帯数
榕	西 町	榎 本 清 治	2-1517	14	221	伊 閼 (5)	柳 原 下 江 一 郎	8-1127	8	88	
	東 町	石 本 道 之	2-0164	18	190		又 延 ※		1	6	
	洲 之 崎	後 庵 一 治	3-2169	19	209		浜 脇 鎌 倉 輝 男	8-0220	5	45	
	池 田	池 島 孝 吉	2-0590	7	73		伊 関 向 田 武 次	8-0234	4	27	
	天 神 町	精 松 義 弘	2-0149	4	55		沖 ケ 浜 田 沖 田 三 秋	8-0294	9	102	
	城	田 屋 敷	和 田 實 義	2-0925	4	40	安 納 (4)	軍 場 鎌 田 太 郎	5-0596	7	86
		鴨 女 町	砂 坂 春 義	3-0839	20	418		大 平 鎌 田 孝 男	5-0738	7	53
		野 首 田	添 ト ネ	2-0747	32	348		下 峯 栗 田 保 志	5-1170	6	50
		松 畠 末	吉 二 男	2-0372	46	485		下 郷 鎌 田 秀 志	5-0861	9	63
		中 西 河	内 時 仁	3-2154	8	108		現 和 (9)	庄 司 浦 上 園 守	5-0826	17
中 目 中		島 貞 美	3-0120	24	408	田 之 脇 大 田 正 義	5-0305		7	60	
小 牧 武		田 恵	2-0851	12	140	浅 川 古 園 一 春	5-1090		14	130	
納 曾 野		(代 行) 寺 元 健 二	2-1394	13	135	上 之 町 榎 本 千 明	5-0765		7	76	
(26)		城 野	西 喜 義	3-2758	7	84	安 城 (6)		下 之 町 榎 本 忠 雄	5-0034	7
		小 牧 野	竹 之 内 正 利	3-2556	10	110		武 部 柳 迫 隆 和	5-0101	12	130
	竹 鷗 村	山 道 男	3-0919	6	46	西 川 保 竹 中 武 志		5-0061	10	85	
	今 年 大	石 和 夫	3-2089	1	12	近 氏 政 山 田 幸 治		5-0191	5	35	
	桃 之 田	二 木 より 子	3-1084	4	28	平 山 小 倉 鉄 夫		5-0406	4	39	
	上 西 (6)	岳 之 田	中 村 タイ 子	3-4354	5	35	安 城 (6)	平 之 町 入 鹿 山 陸 郎	3-7235	5	46
		平 之 田	坂 元 嘉 勝	3-0081	7	49		上 之 町 長 浜 直 吉	5-0957	3	9
		牧 本 立	古 賀 正 人	2-1372	3	23		下 之 町 鯨 島 永 義	3-7241	4	44
		上 之 原	町 串 間 ミドリ	3-1728	4	21		川 脇 野 森 川 原 純 子	3-7355	7	85
		美 浜 町	尾 山 輝 三 郎	3-0979	6	62		大 野 森 川 原 純 子	3-7349	1	15
上 西 (6)		朝 日 が 丘	荒 武 昌 美	3-1353	9	93	立 山 (6)	芦 野 青 山 一 男	3-7425	5	55
		池 之 久 保	松 里 ミヨ 子	2-0997	22	330		御 立 山 小 幡 松 盛 一	3-7246	2	12
		横 之 峯	森 園 本 実 美	3-0473	1	19		立 野 木 西 中 勇	3-7052	3	17
		大 花 里	名 越 笑 子	3-0883	4	45		植 木 松 德 田 義 弘	3-7026	5	40
		大 花 里	崎 平	3-1389	2	26		高 山 松 德 田 義 弘	3-7457	2	14
	下 西 (8)	川 池 迎	吉 留 ミチ 子	3-0787	6	52	中 割 (4)	千 段 峯 遠 藤 辰 男	3-7075	2	10
		壺 野 泊	寺 浜 渡 津 代 美	3-2351	4	21		生 姜 山 森 園 文 雄	3-7073	1	4
		上 石 寺	大 石 由 美 子	3-1259	5	28		十 六 番 伊 大 山 福 正 史	3-7004	1	5
		下 鞍 無	線 村 田 志 津 代	3-1008	4	47		万 波 大 山 福 正 史	3-8752	2	23
		若 宮 竹	中 秋 良	2-1507	11	203		川 池 迎	吉 留 ミチ 子	3-8729	3
国 上 (10)		櫻 園 森 田 盛 綱	8-0625	10	93	古 田 (7)	十二 三 番 浜 田 登	3-8425	2	13	
		白 野 木 目	青 奥 崎 宏 一 郎	2-1381	13		156	本 之 町 榎 本 正 美	3-8506	3	17
		中 奥 崎 宏 一 郎	8-0792	7	84		村 之 町 岡 村 政 綱	3-8730	4	35	
		久 保 田 宇 辰 政 俊	8-0587	10	144		上 之 町 串 間 光 春	3-8618	8	54	
		浦 湊 古 田 永 合 奉 美	8-0540	3	24		下 峯 沢 柳 弘 務	3-8631	6	55	
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-4105	3	28	住 吉 (8)	平 松 川 岩 瀨 川 寅 夫	3-8512	2	32
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-1346	6	53		深 里 之 町 上 妻 三 幸	3-8534	4	16
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0482	3	26		之 之 町 長 野 節 郎	3-8102	12	81
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0792	7	84		浜 之 之 町 深 田 節 盛	3-8244	7	61
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0587	10	144		形 之 之 山 兼 添 道 雄	3-8264	9	59
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0540	3	24	住 吉 (8)	上 之 之 野 牧 元 五 男	3-8405	10	103
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0525	4	56		能 能 野 里 下 園	3-8859	4	37
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0333	6	67		能 能 野 里 下 園	3-3693	12	105
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0177	6	82		能 能 野 里 下 園	3-3595	8	44
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0133	3	12		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
	国 上 (10)	上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
国 上 (10)		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102	住 吉 (8)	能 能 野 里 下 園	3-2827	8	60
		上 寺 之 門	落 合 奉 美	8-0054	9	102		能 能 野 里 下 園	3-2827	8	



フリスビー・ゲームを楽しむ

中割校区では、鴻峰小学校校庭に区民が集まり、親子対抗のソフトボールやゲートボールでなごやかに“こどもの日”を祝いました。また、体育館では、小学生による手作り“フリスビー・ゲーム”も行われ、楽しい一日となりました。

今年は、市恒例の「子ども祭り」がなかったこともあって、各地域で、それぞれ趣向をこらした催しが行われました。



磯遊び

伊関沖ヶ浜田では、5月5日地域の親子およそ80人が午前中、伊関小学校体育



館でドッジボールに汗を流し、午後からは近くの海岸で磯遊びをしました。

お父さんに仕掛けてもらった釣り竿を手にした子どもたちは、さっそく、思い思いの釣場に陣取り、潮風の中で心地よく釣り糸を垂らしていました。

島の子どもたちならではの、リッチな“子どもの日”の過ごし方だったのかも。

こども・子供・Child

4つの話題



海難訓練

国上の浦田海水浴場で4月28日、海開きが行われ、国上小学校の児童約80人が初泳ぎを楽しみました。島民や観光客に親しまれにぎわいをみせる「ベラビーチ浦田」。期間中の海難防止を祈って神事が行われたほか、熊毛地区消防組合の職員によって救難訓練も実施され、人工呼吸法など参加者は熱心に学んでいました。

水もぬるみ、これから、海・川に出向く機会が多くなります。子どもだけの水遊びは大変危険ですので、大人同伴で注意して楽しみたいものです。

太平洋一周のヨット寄島 古田中で国際交流

1年2か月の予定で太平洋一周ヨットの旅を続けるカナダの親子3人（バンクーバー島に住むウィンストン・ブッシュネルさん一家）が4月13日、西之表港入りしました。乗っていたスティーブン君（12歳）は6日間の滞在中に、古田中学校の授業に参加し、ある時は教壇に立って生徒と会話。

今年3月、日本英語検定協会から学校賞を受賞した古田中。カナダからの突然の同級生出現にも生徒たちは何なく応え、楽しいミニ国際交流が実現しました。このスティーブン君、旅行中は停泊先から通信教育のためのレポートをカナダに送っているとのこと。青少年教育と国際交流のあり方を教えられた数日でした。



「DOVE II」とブッシュネルさん夫妻

貿易会社でバンクーバーへの外国航路に就いていたという徳清憲一さん（鴨女町）は、航海に役立ててほしいと貴重な気象情報を提供



スティーブン君と交流する古田中1年生たち

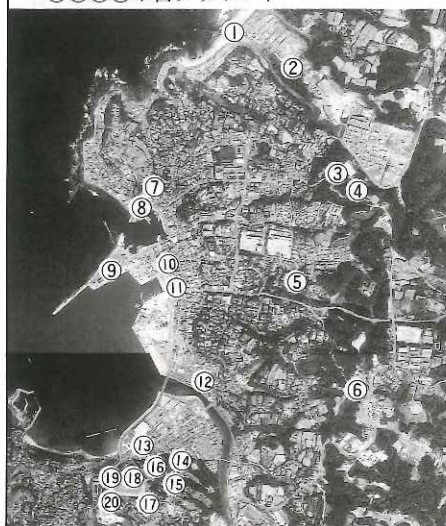


公衆トイレのご案内

本格的な観光シーズンも間近かとなり、今年も多く観光団が種子島を訪れる予定になっています。また、市民の方々も、夏祭りなどで屋外に出かける機会が増えがちです。市では、次のとおり、市内20カ所に公衆トイレを設置していますので、ご利用ください。

(西町、池田の公衆トイレは廃止)

- ①花里浜公園
- ②古園ソフトグラウンド
- ③④嘉永山公園
- ⑤中目公園
- ⑥中央墓地公園
- ⑦八坂神社
- ⑧農協Aコープ前
- ⑨日ボ親交公園
- ⑩栄町公園
- ⑪東町公園
- ⑫天神町(サンシード前)
- ⑬鳴女公園
- ⑭⑮⑯わかさ公園
- ⑰⑱⑲市営グラウンド



7月21(土)・22(日) 第21回 種子島鉄砲まつり



太鼓山かつぎ手に認定証発行

太鼓山に参加しませんか

鉄砲まつりの呼びもの「太鼓山」が今年も7月22日、祭りに繰り出し、勇壮に街を練り歩き、甲女川を渡ります。太鼓山保存会では、この「太鼓山」をかつぐ、元氣のある男衆を募集しています。希望者は、次までご連絡ください。

午前9時～午後4時
▼申込期限：7月20日(金)
▼申込人数になり次第締切ります。
▼申込・問合せ先：太鼓山保存会(西町町内会事務局 09972②1517)
※かき・たび・ハッピーは保存会に準備しますが、ズボン下は各自持参。
※参加者には、その栄誉を讃え、「太鼓山参加認定証」を発行します。

鉄砲伝来420周年を記念して昭和38年スタートした種子島最大の夏祭り「種子島鉄砲まつり」も今年で21回目。今回は、ポルトガル領マカオから多くの方々を訪れるほか、大門三郎・小倉新二ショウが企画されるなど、バラエティに富んだ内容となっています。また、マカオ教育庁が主催する「マカオと種子島の歴史」資料展も開催される予定です。ご家族そろってお楽しみください。

詳しい内容については、7月号で掲載します。

5月の市長動静



知事対話

市長随想 百合の花

子供の頃を思い出す。家の回りをはじめて、いたる野山に百合の花一杯を見たものだ。即ち、種子島独特の鉄砲百合の群生だ。

その時は、さほど気にも留めなかったが、今少なくなつて初めて懐しく思い出される。鉄砲百合の清楚な気品ある姿、そして、なんとも言えない香しさ。

「その夢よ、もう一度」と三年前、種子島開発総合センターの道路わきに鉄砲百合を植えてみた。一年目は立派に咲き誇り、通る人の心を慰めてくれたと嬉しく思っていたが、二年三年と過ぐる毎に少なくなり、寂しくなってきた。

花一つ育てることのなんと難しいことよ。

五月十二日、安城海岸で、「安城を語る会」が催され、その海岸沿いの山辺り一帯に群生している百合の花に気がついた。今まで、群生地は絶えてしまっているものと思いつめていた私は、ほのぼのとした明るさと、安堵感にひたり、なんとも言えない感激で一杯となった。

幾世霜 苦難に耐えて咲いているこの百合の花、人為的に育てて三年で減びようとしている百合、どこが違うのか?

昔、我がふるさとを彩つて来た代表的な草花を思い出す。五月から鉄砲百合、段々花、鬼百合、彼岸花、野菊、ツワ、水仙など、立派に一年中、花一杯の楽園が出来ていたではないか?

平成二年五月十八日

榎本修

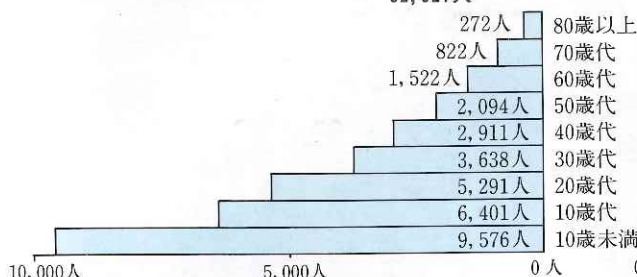
- 2日 市と農協の語る会
- 3日 種子島地区生コンクリート共同組合創立十周年記念大会
- 12日 安城を語る会
- 15日 九州山口地区港湾整備促進協議会(博多)
- 16日 県農業コンサルタント協会総会(城山会館)
- 19日 市観光協会総会
- 20日 安納畑かん通水式
- 21日 第一回市わんぱく相撲大会(わかさ公園)
- 22日 寿大学開講式
- 22日 食生活改善推進員総会
- 23日 種子島専門店会総会
- 24日 市商工会総会
- 24日 全国離島振興協議会総会
- 30日 〇〇定例記者会見

西之表市長期振興計画 (シリーズ⑤ 社会福祉の充実)

本市の人口構成

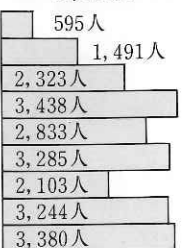
昭和30年国勢調査

32,527人



昭和60年国勢調査

22,692人



シリーズで紹介する長期振興計画。五回目は、第三章「市民生活の充実とあるおのの環境づくり」のうち第一節「社会福祉の充実」について。

市民が、安心してゆとりある市民生活を営むためには、生活の安全性、快適性の確保が基本です。

市民の価値観や欲求が多様化する中、全市民が、うるおいのある社会福祉、健康で安全、快適な生活をおくられるよう、生涯をととしての生活環境づくりをすすめます。

近年の稼働年齢層の減少や平均寿命の伸長は、特に人口構造の高齢化に現れており、本市の高齢者率（六十五歳以上）は昭和三十五年の五・七割から四十五年の八・〇割、五十五年の一・七割、そして平成二年には一六・四割と急激に伸びています。

この高齢化と核家族化の進行によって家族意識にも変化が生じており、今後、制度としての高齢化対策、市民相互の生きがい対策、そして、保健・医療と福祉の一体化を課題として、次の施策を講じながら、うるおいのある福祉社会の充実に努めます。

ぬくもりのある

地域社会づくり

① 地域や家庭で、福祉の心を育み培っていくとともに、広報活動、福祉副読本等を通じて、一人一人の意識の啓発を行い、家庭、各学校、社会教育等において福祉教育を推進します。

② 老人や身体障害者等と子供とのふれあい事業、作品展示即売会、スポーツ大会などを開催します。



③ 市民のボランティア活動の輪を更に広げ、市民の福祉活動への積極的な協力を求め、また、指導者の育成、民生委員、家庭奉仕員等の活動の強化及び社会福祉協議会の育成強化により、地域ぐるみ、市民総ぐるみ

るみの福祉のふるさとづくりを促進します。



高齢者の福祉増進のために

① 高齢者の生活を健全で豊かなものにするために、老人クラブの育成強化、地域交流を推進し、また、生きがい対策として、高齢者のスポーツの普及、作品展示会を開催します。

② 高齢者が働くことにより、健康で生きがいを求められるように、シルバー人材センターの育成強化と利用促進をはかります。

在宅福祉の充実

① ねたきり老人、痴呆性老人及びひとり暮らし老人など

要介護老人が安心して生活できるように家庭奉仕員制度を推進し、介護人の派遣、福祉電話の設置、日常生活用具の給付を拡充します。

② デイ・サービスセンターの民間施設への併設を促進します。

③ 特別養護老人ホーム「わかき園」の施設の整備、定員の増加をはかり、機能の充実に努めます。

④ 老人福祉センターの運営を充実し、施設内容の整備をはかります

障害者の福祉増進のために

① 心身障害者（児）の体力の維持向上、機能回復をはかるため、スポーツ大会、作品展示即売会や育成会との連携による親子交歓会の開催など社会参加を促進します。

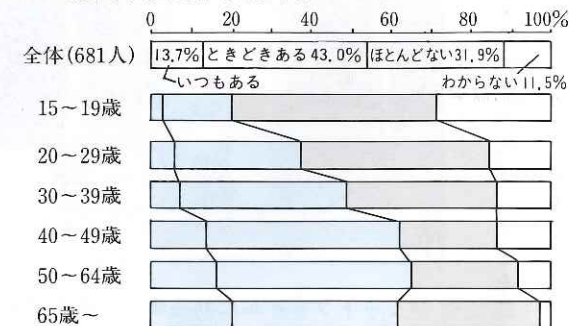
② 心身障害者（児）の在宅支援を促進するため、相談指導の充実、家庭奉仕員の研修、補装具の給付、福祉電話の設置、手当の支給など、きめ細やかな施策を展開します。

市民アンケート集計結果から

Q52 あなたは、社会福祉の施策で、今後何に最も力を入れる必要があると思いますか。(2択, 2,274人)

- | | | | |
|--------------|-------|-------------|-------|
| ①老人福祉の充実 | 33.5% | ⑥精神薄弱者福祉の充実 | 6.7% |
| ②身体障害者の福祉の充実 | 14.1% | ⑦母子福祉の充実 | 3.8% |
| ③福祉年金の充実 | 11.8% | ⑧その他 | 1.1% |
| ④児童福祉の充実 | 10.3% | ⑨わからない | 10.6% |
| ⑤生活保護の充実 | 8.0% | | |

Q55 あなたは老後の生活について不安や悩みを感じたり、考えたりすることがありますか



私たちの村づくり方策④ 現和校区

市街地から東へ車で十分も走ると、もうそこは現和。七百町歩余りの広々とした耕地が広がる。ここは昔、西之表の農業の中心地で、米、イモ、サトウ、役馬の



現和校区長
西田 信助さん

村づくり
スローガン

人々が微笑み
若者が残れる
豊かな村づくり

産地として活況を呈した所である。現在も、サトウキビ、カンショ、和牛、乳牛の産地として所得の向上に励んでいる。地域の振興は、まず、いかに所得を上げるかである。ほ場も整備され、平成三年までには約三百町歩に西京の「水」が来る。私達は関係機関と一体となって収益の上がる農業形態にもっていかなくてはならない。

もう一つは、心の豊かさ、「ゆとり」を持ちたい。その為には、区会、老人会、婦人会、青年団、高校生クラブ、各振興会等の会合や研修の為に現代的な集会所が必要であり、又、心の安らぐ運動公園や風本神社の公園化に取り組み事も大切である。運動公園にはプールがあり、野球やテートボールの出来る位の広さがほしい。又、風本には踊り場や相撲場、さらには一葉の原生林の中に遊歩道もつけたい。

これらの実現は大変な事であるが、将来に夢をもって進もう。

第三次 (平成2年度～11年度)



わかさ園



老人福祉センター



たちばな園

③ 精神薄弱者更生施設「たちばな園」の内容充実と施設整備をすすめます。

① 児童の健全育成のための
児童の
福祉増進のために

適切な指導、助言ができるよう家庭児童相談室の充実をはかるとともに、保育所、児童館の充実、利用を促進します。また、育成医療、生活用具及び補装具の給付、児童手当、特別児童手当を支給します。

② 児童育成クラブ、母親クラブ等の設置及び育成を進め、児童の事故防止のための奉仕活動、家庭療育の研修活動を促進します。

③ 保育所定員の適正配置と施設の整備に努めるとともに、今後、公立保育園の民間委託など検討します。

暮らしの
安定のために

① 低所得世帯や障害者世帯に対しては、資金の貸付と民生委員による指導援助を行い、経済的自立と生活意欲の助長促進をはかります。

② 国民年金をはじめ、各種制度の内容の充実と制度の啓発活動及び組織の強化をはかります。

③ 母子家庭等の経済的、社会的自立を促進するため、職場の確保、医療の助成、母子寡婦福祉資金及び母子助け合い資金の活用を推進

します。また、母と子の交歓研修事業の充実と・母子福祉団体の育成強化をはかります。

④ 父子家庭においては、児童の適切な養育をはかるとともに、介護人派遣、親子交歓会を実施します。

⑤ 戦没者遺家族等の福祉の充実のため、給付制度の改正等による適正な給付が受けられるよう取り組みを進めます。

⑥ 火災・風水害等の災害時の救助活動および被災者に対する見舞金、弔慰金支給、援護資金貸付を行います。

キャッチフレーズ

知事対話

「みんなで参加, ふるさとおこし」

西之表港整備のピッチを上げて!!

青少年研修センター設置を!! など要望・提言多数



ジェットフォイルに初搭乗。土屋スマイルでタラップを降りる知事(西之表港)

土屋佳照県知事による今年度初の知事対話が、四月二十六日、二十七日の両日、種子島の六会場で開催されました。

このうち、本市では二十六日、市民会館で知事対話が、また、田之脇港広場でミニ対話が行われ、市内の各界各層を代表する十数名から、港湾整備、青少年研修センター設置、産業振興などについての数多くの提言が発表されました。

また、知事は、西之表港や種子島開発総合センター、西京ダム、たちばな園を視察するなど、精力的に市内を駆け回りました。

土屋知事による知事対話の初回は昨年、甕島で行われ、種子島は、大島本島、伊佐郡に続く四回目。

土屋県政は昨年二月にスタートしており、知事に就任して初の種子島入りとなった今回、知事対話のキャッチフレーズは「みんなで参加、ふるさとおこし」。

二十六日、朝のジェットフォイルで到着した土屋知事は関係者多数の出迎えを受け、たあと、さっそく、西之表港を視察し、沖防波堤整備などの進捗状況を把握。

最初の対話会場となった市民会館では、進行役の榎本市長が「活力あふれた、たくましい鹿児島。そして、すこやかで、心豊かな郷土の建設を目指して、知事は今回の対話を企画された。県民の生の声として、忌憚のないご意見を」と口火を切り、続いて、土屋知事が「鹿児島県の素晴らしい素材を生かしながら、①日本の食糧基地として農林水産業の振興、②テクノポリス構想の推進など、若者が定着し働ける郷土づくりのための企業誘致、③歴史的、自然

対話 ふるさとおこし



知事対話は榎本市長の司会で進行

的観光資源を生かした鹿児島独自の観光リゾート産業の育成、④経済、スポーツ、あらゆる分野における南の拠点づくりのための交通基盤の整備に力点を置き、県の長期計画策定を進めている。また、種子島は、ジェットフォイルの就航、リゾート法に基づく地域指定、空港のジェット化、宇宙産業の進出など、今後、大いに期待される地域」と県の方針、そして種子島への期待を述べました。

市民会館での知事対話には約五十人の市民が参加し、十人が島興しに関する提言を発表。その主な内容と知事の答弁は次のとおりです。

①県大会等への参加費軽減措置は制度的に考えられないか。
②県立の青少年研修センターを設置していただきたい。



市体育協会会長
橋川 昇さん

知事 ①離島がゆえの課題

と考えるが、根本的に改めるとなるとむずかしいと思う。しかし、それをカバーする方法など考えられる。離島振興に関連するものとして考えていきたい。

②青少年研修、人材育成、生涯教育は大切で、研修セン

鹿児島県知事

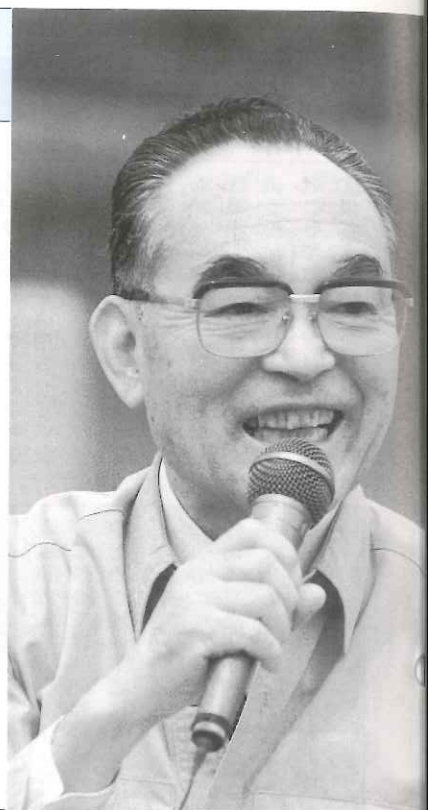
土屋佳照

出身地・年齢

○ 大正15年2月12日、鹿屋市生まれ（64歳）

主な経歴

S20 第七高等学校造士館卒
S24 東京大学法学部政治学科卒
S24 総理庁
S27 大分県社会課長
S31 経済企画庁
S33 自治庁
S40 大阪府総務部次長
S43 自治省選挙課長
S51 国土庁地方振興局長
S57 自治省事務次官
S59 財自治総合センター理事長
S63 帰郷
H1 鹿児島県知事就任



▲西之表港では熊毛支庁職員の詳しい説明を1つ1つ確認しながら整備状況を把握



▲橘原助役の案内で種子島開発総合センターをていねいに視察



▲「たちばな園」全員の歓迎に応える知事

▼「知事と宇宙少年団員と語る会」では、1市2町の宇宙少年団員からの「種子島と屋久島の間に橋を」「時速100km以上の船は」「農産物の輸送体系は」といった質問に知事もドッキリ

（会場：中種子町立南界小学校）



ター設置のご希望はごもつともだが、つくる以上は、運営面でも、うまくいかなければならない。今すぐ、つくるということについては、全体の条件等考えながら、勉強したい。



市園芸振興会副会長
中村佐恵次さん

①農地・宅地造成およびリゾート開発にあつては、農作物を季節風から守るため、自然林の保護、計画的防風帯の設置を。
②生産物をいかに早く消費地

①冬の季節風対策として必要に応じ防風垣を作らなくてはならない。これは県単事業でも対応できる。自然林の保護は大事なこと。
②農産物の輸送体

知事——鹿児島県は平成二年度から「日本一早いグルメシリーズ」をスタートし、県内百か所でブランド産地づくりを進める。

に送るかが、輸送園芸のポイント。コスト低下の面からも志布志港→種子屋久ルートによる輸送体系づくりを。

系の確立のためには、船や港の整備が必要。また、予冷倉庫については、組合や県に相談してほしい。今後はフライト農業にも力を入れていかなければならない。志布志港については、大きな物流基地としてさらに整備し、大阪、東京方面と結ぶことも出てくる。



市民会館での知事対話

の品質、意匠、そして販路対策についても指導を。

知事——①商業振興のための

駐車場用地については、適当な所があれば折衝いただきたい。

③リース期間の延長については、工夫の余地があると思う。関係方面と相談をして、合理的な対応を。

④県特産品協会を昨年社団法人に組みかえ、五億円の基金を造成。東京方面に駐在を置き、大々的に売り込んでいる。今後、特産品協会の中に流通関係者、消費者、生産者とは結びつける組織をつくりたい。



市商工会会長
高崎太郎吉さん

- ①駐車場確保のため、県有地や旧港などを活用させていたきたい。
- ②大型店の進出防御対策として県中規模売店舗対策要綱の存続を。
- ③県中小企業振興公社が取り扱う機械器具のリース期間を延長してほしい。
- ④県特産品協会は地域特産品



種子島地区建設業
協同組合理事
松島 満さん

①空港建設をはじめ公共事業等については、島の経済促進のため、地元業者にも受注機会を。

②汚水たれ流し等による河川の汚濁、悪臭があると思われるため、下水道の早期整備を。

③公共、県単事業の傾斜配分と早期発注を。

知事——①新種子島空港をはじめ、今後の各事業についても、特別な事情でもない限り県内の事業者に発注する。

②下水道など社会資本の整備が遅れている。国に対しても強く要請していきたい。

③県単事業など、途切れないよう指示する。



市文化協会理事
宮浦 五男さん

①種子島開発総合センター主催の五つの講座には、これまで四五〇人が参加し、卒業後も、自主的な活動を進めている。生涯教育の一環として、講座を増やし、内容も充実したい。

知事——健康でいきいきとした生活がえられる、ゆとりのある文化圏域を構築するということが、今回の長期計画の理念。今後、全県をネットワークする生涯教育のセンターをつくりたい。また、リーダーの養成を進めたい。県のいいもの（文化・伝統・歴史など）が交響楽のように共鳴し

あう文化シンフォニー計画を打ち出す予定。必要なことがあれば、お手伝いする。



市観光協会会長
里村 安朗さん

①観光船の沖待ち、沖出しをなくし、船の出入りをスムーズにするため、岸壁を二百メートル延長しては。

②種子島新空港の供用時期は。

③サンオーシャン・リゾート計画の地域指定の時期は。

知事——①西之表港は県の重要港湾として、かなりの整備が進んでいる。第八次港湾計画に沿って、防波堤など整備を早めたい。

②新種子島空港の供用開始予定は平成八年。それまでにはアクセス道路など必要なものは整備していく。

③リゾート法に基づく地域指定は年度末になる見込み。

市長——①ジェットフォイルの発着場所については、浮桟橋を計画したい。港湾の見直し計画は、マリントウン・プロジェクト構想の中で進めたい。



市和牛振興会会長
富奥 秋己さん

①畜産農家の高齢化が進み、機械に依存しなければならぬ状況になって来ている。

知事——（牛肉の）輸入自由化にあっても、高品質のものについては、そう負けることはないと思っている。しかし、オーストラリアなどに日本企業が進出し、同じようなことをやられると心配だ。新しい肉用牛の研究所創設、農業学校の魅力アップ、婦人の経営能力向上のための研修、そして海外研修なども進めていく。



さとくきび生産振興会会長
島田 利清さん

①さとくきびは、平成六年度から品質取引となる。きび農

(11)

家ができていけるよう、基準糖分格差は地域に応じて決定してもらおうという国へ要請を。

知事——①今年二月に県さとうきび品質取引協議会をつくり、品質取引にかかる条件整備をすすめる。今年度から県単の品質向上緊急対策事業を実施し、優良品種の早期普及、低品質地帯の生産条件の整備に努力している。



地域婦人会連合会会長
木原 和子さん

①地域婦人会は次第に弱体化し、現在、深刻な問題となっている。県の総合基本計画案の地域活性化支援システムの中に地域婦人会の活性化支援を盛り込んでもらいたい。

知事——婦人会の方々が社会活動で努力されていることは承知しており、今後、益々ご婦人の能力に依存することが多くなると思う。県も、鹿児島女性プラン21を提唱し、本年度中にアクションプログラムをつくるなど、婦人会全体が盛りあがるよう努力する。



市老人クラブ連絡会会長
木野 実さん

①デイ・サービスセンター建設へ特段のご配慮を。

知事——在宅福祉については県としても力を入れたい。デイ・サービスセンターについては、事業主体は市町村あるいは社会福祉法人が第一義であり、その他は対応にくい。また、老人保健施設への併設は制度的に対象とされていない。市とご相談いただきたい。



市連合青年団会長
松野 弘さん

①青少年研修施設の設置を。
②若者を定着させる企業の誘致を。
③北方領土返還要求に対する知事のお考えは。

知事——①生涯教育を含めて研修施設を整備しなければならない。ただし、規模、やり方など今後考えるべき。

②リゾート法に基づく地域指定などが進めば、地域の起爆剤として、大きな誘発要因になると信じており、思ったより投資が進むだろう。

田之脇港 ミニ対話

四月二十六日の午後二時、現和の田之脇港広場では、地元の船主約五十人が土屋知事を迎えて、晴天の下、ミニ対話が行われました。

対話に先立ち、知事は「新種子島空港および西之表港整備に今後も力を入れていきたい。ここは、これから非常に

③北方領土は究極的に日本領土であり、全部返してもらいたいと思っている。

楽しみのある地域です」と期待を述べました。

対話は、漁業問題に関する知事要望が中心となり、その主の内容は次のとおりでした。

要望事項①区域外の巻網船、底引漁船が夜間に魚礁を荒らす。監視体制の強化と出張所の設置を。また、枯れ藻の対策を。

②リゾート開発では海に害を与えないように。また遊漁船対応策も考えること。

③港湾整備は利用する漁民の要望も盛り込んで計画を。

④青少年の間で言葉が乱れており指導してほしい。

⑤潮流の変化によって砂浜がなくなり、砂が港に入ってきているようだ。沖に消波ブロックなど対策がとれないか。

⑥漁場が枯渇しないよう、魚礁の設置をさらに進めて。

⑦漁船購入の際の県補助を改善してほしい。

知事——①夜間侵犯については今より前進した対策がある



市船主会会長福元末雄さんら約50人が参

か相談し、枯れ藻の研究については進めるようにする。
②リゾート開発は、皆さんの仕事が生きるような方向で考え、開発審議会みたいなもので調整、相談しながら進める。
③車止めが錆び、網が傷む事については改善の余地があると思う。今後、市、県にザックバランに相談してほしい。
④世の中が豊かになるにつれて、心の豊かさが失われることも残念な面がある。家庭・学校で考えていかなければ。
⑤この海域の今後の利用も考慮しながら研究すべき。
⑥今は管理・培養型の漁業時代にきており、これを伸ばしたい。習性を利用した魚礁やバイオ利用も考えてゆくべき。
⑦他の行政との関係もあり、書きとめます。

みんなの広場

この人にSPOT

平成元年度
～2年度

県政モニター

名越恒樹さん（西町・南国食堂三代目）

昭和38年、西町に生まれ、種子高卒業後、熊本
の商科大学で学び、59年、家業を継ぐため帰島。
島に帰って、まず、やりたかった事は、いろん
な活動で多くの人を知ることと、やっぱり、商売
を大きくすることでした。

自分も戒めるつもりで言わせていただければ、
若い人は、何事にも一生懸命になって「うむ、こ
いつは、やるなあ」と思わせるくらいアピールし
て、夢と希望を実現させていかなければならな
い。つまり、「若者は、ぬるま湯につかっている
はいけない」と思うのです。

平成元年度から2か年間の県政モニター（市内
3人）の1人となっており、種子島の観光振興、
青少年育成をテーマに、島外の大学や学園のサー
クルを呼べる青少年研修センターの設置を強く県
に要望していきたいと思っています。



「みんなの広場」は皆さん
からのお便りで作る市民参加
のコーナーです。
市政に対するご意見、ご希
望、そして、見近なニュース
などご連絡ください。

（市政の窓② 一一一）



飛魚に乗った少年（赤尾木橋）

21世紀の
子供たちに

飛魚のふりかけ



材料（目安）

- | | |
|-----------|---------|
| 1. 飛魚（干物） | 2 匹 |
| 2. 砂糖 | 大きじ 2 杯 |
| 3. 青のり | 少々 |
| 4. 梅漬しそ | 少々 |
| 5. 白ごま | 適宜 |

市食生活改善推進員

吉田ナツさん（現和，西俣）

〈作り方〉

1. 飛魚はサツと焼いて骨（小骨まで）をとり解す。
2. これをすり鉢でよくすり、わたの様にフワフワになるま
でに細かくなったら、フライパンで軽く炒める。
3. ごまを炒り、青のりは火にあぶり小さくもみ解し、梅漬し
そは陽に干し、小さくきざみフライパンで炒る。
4. すべての材料がよく冷えてから全部を混ぜ合わせ、消毒
（熱湯消毒）乾燥したビンに詰めて保存する。

美しい新緑に包まれた山間いから、今年生まれた目白（メジロ）
の声を聞く頃、西之表港には最盛期を迎えた飛魚が水揚げされ、市
民を喜ばせてくれます。

この頃の食べ物、自然や季節が感じられないと言われますが、
市民の皆さん方は飛魚料理のことはよくご存知ですので、今回は、
常備食のひとつ「トッピーのふりかけ」を作ってみました。
飛魚のふりかけは、くせがなく、発育盛りの幼児のふりかけは
人に最適で、成長を助けます。又、妊娠婦の食欲のない時、サッパ
リしてて食事がすすむと好評です。
手作りのふりかけを作ってみてはいかがですか。自然食のよさを
今一度、味わってみたいものです。
赤尾木橋の「飛魚に乗った少年」の素晴らしい姿。今にも飛んで
いきそうな……希望の空へ。
私は、あの橋を通るたびに胸にこたえるものを感じ、大好きです。

人口の動き

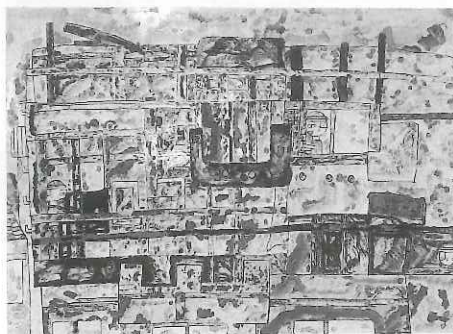
平成2年5月1日現在(前月比)

総数	……21,208人	(+168)
男	……10,115人	(+94)
女	……11,093人	(+74)
世帯数	……7,776世帯	(+100)
市の面積	……207.43km ²	

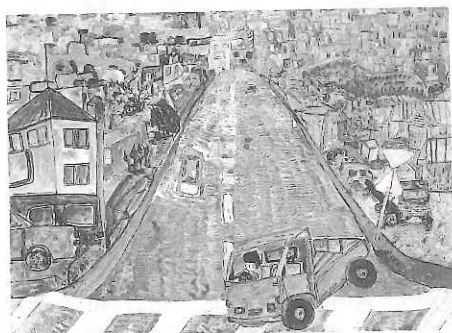
おめでと
うぶごえ



木原 博	河本 和	池田 修	古田 洋	古石 勝	濱松 満	今村 純	重 幸	中原 康	上妻 山	鵜 貴	大河 津	重 信	古田 隆	上妻 亮	江口 香	村山 周	出生児
雄一 郎	省 悟	央 理	千 尋	綾 女	志 織	義 隆	あ や か	康 子	山 住	貴 行	津 美	彩 香	隆 博	亮 介	香 澄	周 一	
博 丈	和 昭	修 美	洋 美	勝 広	満 司	純 喜	幸 信	康 力	紀 雄	春 喜	哲 也	信 二	敏 孝	輝 夫	吉 三	保護者	
下 町	現 和	松 島	西 町	沖 田	朝 日	中 目	中 目	十三 番	上 石	深 川	鴨 女	松 島	沖 田	松 島	上 町	古 園	住所



▲渡辺麻衣さん (榕城小学校 4 年)



▲平原景子さん (安納小学校 6 年)

市民ギャラリー



▲河内龍朗さん (納曾)



▲橋口淳二くん (古田中学校 1 年)

(89 熊毛美展熊毛支庁長賞作品)
学校・学年等は出品時

おたよりコーナー

ウミガメに関する情報を

濱元道則さん (松島② 一二六四)

去る二月の初夏を思わせる日曜日、ウエットスーツに身をつつみ、久しぶりの海底散歩(伊関の小浜海岸)に出かけました。

突然、岩影から大ウミガメが現れ、私の周りを一緒に泳ぎ始めたのです。水中メガネを着けていたので、少し大きめに見えましたが、およそタミ半量程の大きなカメで、良く見ると、後足の先に数字の書いた黄色いプラスチック片をいくつか着けていました。

小さくて良く見えないので必死に近づくことを試み、やつとのことで1365の数字を確認することが出来、約二三分のカメさんとの海中散歩を経験することが出来ました。

帰って早速、市の商工水産観光課に問い合わせましたが詳しいことが解らず、農林水産省に問い合わせたところ、いくつかの団体を教えていただきました。やつと、放流先を尋ね当てた所は、小笠原の父島にある小笠原海洋センターでした。

私の見たカメは、一九八四年四月二十九日母島で捕獲され、翌年三月九日放流。八九年五月十四日母島で再捕獲され、今年一月一日再放流されたものでした。体長九二・七センチ体重百三十キログラム。

およそ二か月近くで、あの小笠原から種子島まで何千キロメートルという距離を海遊して来たかと思うと、ロマンを感じ、頭の下がる思いとウミガメ保護の大事さを再認識しました。

それから後、海洋センターからは「うみがめニュース」が毎月送付されます。各地の色々なウミガメに関するニュースや研究結果が掲載されています。私もウミガメに関するニュースをセンターの方々にお知らせしたいと思っています。

もし、標識を着けたウミガメを見つけた方、ウミガメの事について何でもいいです、お知らせください。

ごめいふくを お祈りします

氏名	年齢	住所
小川 シカ	87歳	壺 泊
壺河 ムメ	91歳	壺 泊
桑山 ツタエ	62歳	池 野
花里 スエ	78歳	花里 崎
中居 正	94歳	十六 番
長野 末安	71歳	安城上之町
栗田 末市	79歳	峯
中園 吉也	75歳	松 島
河野 トヨ	75歳	野 首
税所 トミ	79歳	松 島
西川 あやか	0歳	武 部
鎌田 静美	61歳	峯
鎌田 次男	66歳	中 西
西園 正彦	60歳	野 首
大山 シゲ	88歳	万 波
中園 ヨシ	100歳	下 郷
椎田 道也	77歳	峯 泊
青山 ウト	91歳	壺 泊
平原 武夫	75歳	軍 場
徳永 初子	43歳	鴨 女
浦口 兼彦	57歳	浅 川
中村 リン子	58歳	西 保
延時 秀夫	63歳	美 浜
中道 ツヨ	73歳	川 氏

うぶごえ・ごめいふくは
四月中の受付け分です。

新着図書(市立図書館)

- よーいどんけついつとうしょう他1~17巻
 ○みんなの文学1~32巻
 ケヤキの下に本日開店です
 ○修学旅行の本1~9巻 北海道他
 ○乾物の本(乾物屋さんが書いた)
 ○読書随想と対談
 ○花の家事ごよみ
 ○TUGUMI つぐみ
 ○つぶての歌吉
 ○人生シリーズ

梅川 俊作

宮川 ひろ他
修学旅行研究会

田中 靖三

椋 鳩十

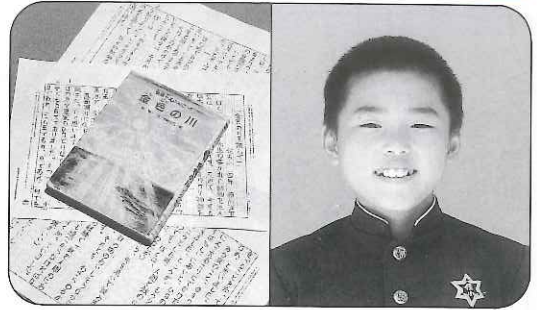
吉沢 久子

吉本ばなな

安部 譲二

山手樹一郎

みんなの広場(読書コーナー)



「金色の川」を読んで

住吉小学校四年(現在、同校五年) 押川 洋平

ぼくは、椋鳩十先生の書かれた動物を主人公にした物語が大すきです。それで、今度も図書館で「金色の川」というカワウソ物語をかりて読んでみました。

主人公は、ずいぶん年をとった大きなカワウソのお母さんでした。ぼくは、夏休みに平川動物園で見たカワウソを思い出しました。あおむけで泳いでいるカワウソを見て、ネズミにっているなあ、

と思いました。また、食べ物もしっかりにぎって、食べる様子は、人間の赤ちゃんにそっくりで、とてもかわいいなあ、と思いました。くりくりしたよく動く黒目が、今でも印象に残っています。

五箇瀬川に住むカワウソもそんなかわいい親子だったと思います。母カワウソは、滝つぼの魚や農家のひなどりなどを取ってきて、子どもを育てておりました。カワウソは、小鳥であれ、こん虫であれ、魚であれ、何でも食べる

ことを知って、とてもうれしんぼうだなあ、と思いました。

ある夜のこと。母カワウソは、いつものようにエサをあさりにでかけたところ、草むらですばらしいにおいと、ひなのなき声が聞こえてきました。ところが、もう少しでひなに飛びつこうとした時、人間と鉄のにおいがしてきたのです。

ぼくは、「やめろ、わなだぞ」と心でさけびながら、先を急いで読みました。

母カワウソは、目の前のおいしそうなるひな鳥に飛びつこうか、それとも、あきらめるか、まよったと思います。

しかし、長い間の経験で「鉄と人間のにおいからは、どうあっても遠ざからなければならぬ」ということをよく知っていました。

「さすが、母カワウソだ。頭がいい」と思いました。

ところが、あとについてきたくいしんぼうの子カワウソ

が、ひな鳥にめがけて飛びついたのでした。それを見た母カワウソは、どんなにびっくりしたことでしょう。母カワウソは子どもを助けるために、とうとう、人間のしかけたわなに尾をはさまれてしまったのです。

ぼくは、きけんをしようちで飛びこんでいった母カワウソは、とても勇気のある子ども思いの母親だなあと感じました。

いくども、にげようとこころみたカワウソ。大地にいやというほどたたきつけられ、いたかったと思います。

目の前で自分の身がわりになって、いたい思いをしているお母さんを見た子カワウソは二度と同じあやまちをしないことでしょう。

大わしのおかげで、しっぽが切れ、命びろいをした親子は、それから後、仲よくくらしたそうです。

ぼくは、この本でカワウソのことをいろいろ知りました。これからも、もっとたくさん本を読んで、ほかの動物のことも知りたいと思います。

交通事故発生状況

平成2年5月15日現在(対前年同月比)

※死者傷者とも発生場所での件数です

区分	発生件数	死	者	傷	者
西之表市	23(+2)	0(-1)	27(-3)		
中種子町	6(-4)	0(±0)	6(-7)		
南種子町	8(+1)	0(±0)	12(+5)		
計	37(-1)	0(-1)	45(-5)		

※6月の展示

収蔵資料展(日高部さん寄贈画展)

6/9~7/20

※7月の展示

鹿児島自然美画展 7/21~7/30

夏咲きエビネ展示 7/23~7/26

特別企画

黎明館収蔵資料展 7/1~7/30

鉄砲館だより



種子島開発総合センター ③3215

お し ら せ

かごしま文化の表情
(文化百選)候補募集

県では、歴史や風土に育まれた本県の豊かで多様な生活文化を県民の皆さんに再発見・再認識していただくためハンドブック「かごしま文化の表情」(文化百選)を作成、刊行します。

ご応募いただいた事例の中から選定し、これに解説を加え掲載しますので、次の要領によって、ふるってご応募ください。

▽テーマ:「民具・民芸品」
▽募集対象: (1)工芸品(陶磁器、織物等)、(2)玩具(人形、おもちゃ等)、(3)生活・生産用具(細工物、農林漁業用具等)
▽募集期間:平成二年六月一日から六月三十日(消印有効)
▽応募資格:どなたでも応募できます。

▽応募方法:次のことを記入し、できるだけ写真等の資料を添え、送付又は持参のこと。
。名称・所在地
。推薦理由(内容・由来等)
。応募者住所・氏名・連絡先
▽応募者の中から抽選で百人

に今回作成する本を贈呈
▽応募・問い合わせ先:

県庁県民生活課 千八九二
鹿児島市山下町一四の五〇
(〇九九二・二二・七七五二)

大規模土地取引は届出を

国土利用計画法は、国土の総合的、計画的利用を目的としており、乱開発を未然に防止するとともに、土地の投機的取引と地価の高騰を抑制することにより地価の安定をはからうとするものです。

都市計画区域内において五千㎡以上、それ以外の区域で一万㎡以上の土地取引をしようとする場合は、契約締結の前に、あらかじめ、土地売買等届出書を市長を経由して知事に提出しなければなりません。詳しくは次までご連絡ください。

市企画課企画開発係

(②一一一内線二九六)

通話料金を値下げ

夏祭り、お盆時期になると島外の親せき、知人に電話をかける機会が多くなりがちで

す。NTTでは、三月十九日から通話料金を値下げしており、その主な内容は次のとおりです。

①三二〇kmを超える遠距離通話を約一五%値下げ。

②深夜(午後十一時~午前六時)の市内及び六〇km以下の近距離通話を二五%割引。

その他、キャッチホン、ブッシュ回線の使用料、ポケットベル料金なども値下げされています。

詳しくは、NTT種子島営業所営業課(②一九七五)まで。

六月一日
人権擁護委員の日

人権擁護委員制度をご存じですか。

六月一日は、人権擁護委員法が施行された日です。

昭和二十三年に、まず、政令に基づいて人権擁護委員制度が設けられ、翌二十四年六月一日に人権擁護委員法が施行。国民の基本的人権を擁護し見守る、いわば民間人による人権の番人の機関が誕生したのです。これが人権擁護委

員制度の始まりです。

人権は、人間が平和に生きていく上で、最も大切な権利です。自分だけでなく、あなた

も私も、みんな人権が尊重されなければなりません。つまり、人権は共存するものなのです。お互いに人権を守って、明るい社会をつくりましょう。

法務大臣が委嘱した本市の人権擁護委員は次の方々(敬称略)。

○荒木政雄(西町②一五二五)
○船元濱雄(湊泊③〇三六〇)
○土屋智裕(中目②〇五六九)

相談は無料で、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

4月の青果市況

種子島公設地方卸売市場

入荷量 127.9トン		島内産 63.7トン(49.8%)	島外産 64.2トン(50.2%)	
取引額 2,955万円		島内産 1,608万円(54.4%)	島外産 1,347万円(45.6%)	
種 類		入荷量トン	取引額千円	単価円/kg
島 内 野 産 菜 類	根 菜 類	10.1	942	94
	葉 茎 菜 類	23.9	3,008	126
	果 菜 類	9.6	1,754	183
	そ の 他	14.0	3,493	250
	小 計	57.6	9,197	160
島 内 果 産 実 類	い ち ご	2.8	2,729	959
	び わ	0.9	540	571
	そ の 他	1.1	543	530
	小 計	4.8	3,812	791
島内産花類・鶏卵・加工品・その他		1.3	3,073	2,331

◎4月の特徴…島内産の果実は、イチゴ、ピワ、タンカンで、花は主に大・小菊、アスター等でした。

◎野菜、果物、花類の出荷をご希望の方は種子島公設地方卸売市場(天神町②0216)をご利用下さい。



西京ダム

の管理棟近くに「桜の園」が
お目見えした。

桜は「日本桜の会」から贈られたもので、
桜の森造成事業（市単独）で整備された。

桜の苗木は、ダムの管理道約一キロにヤマ
ザクラ五百本、ダム広場一畝にソメイヨシ
ノ五百本の合計一千本。

桜を楽しむ場所としては、島内では最
大規模のものと思われる。

ところで、この西京ダムの湖面にカモの

姿を見かけることがある。

鳥獣保護員の大木祐幸さん（鴨女町）によ
ると、西京ダムには十二月上旬から四月下旬
にかけて、カルガモ、マガモなど渡り鳥約二
百羽が飛来しているという。

西京ダムの桜の森。名所誕生までに十年余
りを要すると思われるが、市民の憩いの場が
育っていく様子を渡り鳥たちと、ゆっくり優
しく見守りたい。

（編集室）

歴史講演会

「西郷と大久保の妻たち」

講師：五代夏夫さん
（歴史作家・鹿児島市在住）

と き：平成2年7月8日（日）
午前10時～12時
ところ：西之表市民会館大ホール
入場料：無料
主 催：市教育委員会、種子島開
発総合センター

文化講演会

「からいも交流の挑戦」

講師：加藤憲一さん
（南方圏文化交流センター代表
鹿屋市在住）

と き：平成2年6月22日（金）
午後8時～
ところ：古田中央公民館
入場料：無料
主 催：古田校区
後 援：市教育委員会

平成2年	休日在宅医		休日営業スタンド			
6月3日 (日)	吉田医院 中目③2401	田上(眼)医院 東町②0250	三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石堂②1219	内門商店 沖ヶ浜田③0291	向江商店 安納③1147
10日 (日)	松崎医院 西町③2455	城西医院 中目②0243	種子島石油 鴨女町②1347	鮫島石油店 現和③0005	有馬石油店 安納③1103	
17日 (日)	田上病院 松島②0960		市農協第3 松島③0128	中村石油店 現和③0021	江口石油店 国上③0808	
24日 (日)	池田医院 天神町②0260		有馬石油店 西町②0121	瀬下石油店 住吉③3836	川添商店 現和③0906	水口石油店 国上③0007
7月1日 (日)	河内医院 納曾②0704	中目医院 野首③0350	種子島石油 東町②1345	徳永石油店 安城③7379	一口石油店 安納③1111	
8日 (日)	吉田医院 中目③2401	田上(眼)医院 東町②0250	三栄石油商会 天神町②1251	市農協第2 石堂②1219	内門商店 沖ヶ浜田③0291	向江商店 安納③1147
15日 (日)	松崎医院 西町③2455	城西医院 中目②0243	種子島石油 鴨女町②1347	鮫島石油店 現和③0005	有馬石油店 安納③1103	
22日 (日)	田上病院 松島②0960		市農協第1 川迎②0543	中村石油店 現和③0021	江口石油店 国上③0808	
29日 (日)	池田医院 天神町②0260		有馬石油店 西町②0121	瀬下石油店 住吉③3836	川添商店 現和③0906	水口石油店 国上③0007